

平成27年度 下半期自己評価まとめ

さくらんぼ保育園

◎下半期の目標

- [園に関わること] 皆が安心・成長・つながる
- [子どもに対して] 受けとめる・手だて・信頼関係・遊びの経験を豊かに・目の前の子どもを大切に
にする・支援が必要な子への手だて・楽しいと心から思える保育
- [学ぶこと] 保育理念・専門性・研修・記録・口頭詩・自己学習・発達やあそび・実践・挑戦
- [任務に対して] 責任・計画性・見通しをもつ・職務を的確に把握する・運動と実践を両輪
- [保護者に対して] 共感・喜び合う・安心して働けるように・腹を割って話す
- [環境づくり] 子どもの生活・安心、安全に過ごすために
- [仲間との関係] 保育理念の共有・担任間の話し合いを大事に・伝えあい・共通認識・連携・
達成感・集団の輪・支えあえる関係性
- [健康に働くこと] 体調を整える・明るく元気に・楽しく・心にゆとりをもつ・笑顔で
- [家庭と仕事の両立] 支えてくれる仲間、家族を大切にしていこう・自分の思いも大切に仕事と子育て

◎目標に対する評価

- [課題に対して] 力不足・ただこなすことに精いっぱいの時があった・上手くできていなかった部分
もあった・一所懸命に行けた・意識して努力してきた・引き続き努力・運動が成果
として結びついた
- [学ぶこと] 自己学習の弱さ・学ぶ時間を取れない弱さ・学習会や研修に参加できず学習不足を
反省・学んだが実践に活かせなかった・本を読んで学ぶことができた・文献の読み
合わせや話し合いで学んだ・研修への積極的参加で学んできた・とにかく調べてレ
パートリーを増やした・知らなかった歌を覚えて楽しめた・振り返ることを大切に
した・“何事もやってみないと！”と挑戦しようと思うことでより楽しく仕事がで
きた
- [健康に働くこと] 体調を崩したが乗り越えた・自己管理しながら働いた・健康に働けた・早めの受診
を心がけた・予防して気をつけていく・笑顔で過ごすことができた
- [仕事に対して] まったく計画的にできず悩む・事務をためてしまう、わからないことを聞きながら
取り組めた・見通しをもってできた・組織的な考えの難しさを感じる
子ども達のためにおいしい食事づくりや食育を、協力しながら楽しくやりがいを持
ってすすめてきた
- [保護者に対して] 伝え方の弱さ上手く話ができない・難しさを感じる・信頼関係を築いてきた・自分
の保育を見つめなおすことにつながった・丁寧に対応する大切さ伝える努力をし、
素直に伝えられるようになった・共感しあうことができた
- [職員間のこと] 心がけてきたが伝わりきらなかった・相談できなかった・発達の学びあいに弱さ・
達成感や課題を共有できた・よく話し合ってきた・思いの伝えあいできた・連携が
取れた・細かなことも伝えあって、意思統一できた・楽しいクラスづくりができた・

下半期に少し余裕が出てきた

- [子どもに対して] クラス、園全体で考えていくことを大切にしたい・広い視野で成長を支えた・一人ひ
とりに対する心がけはできたが、グループ保育への工夫が必要だった・気になる子
に対してその子にとって必要な手立てをしてきた・思いや要求を受けとめて気持ち
よく過ごせる環境を作った。
- [家庭と仕事の両立] 仕事に向ける時間が厳しく、思うようにいかない・家庭の悩みなどで余裕がなくな
り保育での子どもの思いを受けとめきれないときもあった・協力がありがたい・生
活の流れも確立し上手く両立できるようになってきた・我が子の悩みもあったが、
仲間の支えで前向きに仕事ができるようになった

◎任務に対して

〈反省点〉

- ・余裕をもって取り組むことができなかった
- ・自分発信の力量が足りない、まわりの職員から学んで気づくことが多い
- ・責任者として見通しをもってリードすることが弱く、後追いになることが多く反省
- ・グループリーダーとして意識の弱い部分があった
- ・忙しさを理由に様々なことが後手後手になってしまったり、期日が守れなかった
- ・任務に対しての自らの働きかけが弱かった
- ・描画、ごっこ、リズム、発達などわからないことが多いが、学びが不十分だった
- ・やりきれないことを仲間に頼らざるを得なかったことで、悔しい思いをした（自分自身が）ことが
多かった
- ・食で気になる子についての対応は弱かった
- ・環境美化をもうすこし丁寧にしていきたい
- ・確認をしっかりとって仕事をしたい。
- ・職責の立場の違い“どこまでやったらいいのか”の線引きが難しかった

〈よかった点〉

- ・気づいたことや疑問に思ったことはその都度投げかけて話し合うことができた
- ・皆が思いを言い合えるような関係づくりを大切にできた
- ・期日を守って事務をする努力をした
- ・力みすぎず、気持ちを切り替えて生活も、仕事もしてきた
- ・保護者からの意見もあったが真摯に丁寧に対応したことで理解してもらえた
- ・他の職員と協力してきた
- ・活動の内容を残していきたい（誰か担当してもわかるように）
- ・初めて担当したことも多かったが、まわりの先生に教えてもらったり支えてもらい学んでいけた
- ・仕事量が増え、大変さを感じながらもやりがいがあり充実していた
- ・保育理念を土台に保育してきた
- ・係の分担などできる限り関わられるようにしてきた
- ・自分ができることは自らすすんでするように心がけた

- 支援を必要な子どもに対して、“今、何をこの子に”といつも考えるようにしてきた
- 保護者との信頼関係を深めることができた
- 連携を取ってクラス保育を進めてくれた
- 自分の持てる力の中で努力してきた

◎今後の課題・目標

[職員集団として]

- 組織的な対応を軸に、議論を深めていくことを大事にしていきたい
- クラスを超えて連携を高めるために、広い視野を持ちながら、大事な視点や立ち位置はブレずに繋ぐ役割を果たしていきたい
- 思いを出し合って積極的に交流していきたい
- 保育者としての大切にしたい軸はブレずに学び、話し合いをたくさんしていきたい
- 悩んだら相談を丁寧にしていく
- 困っているとき、助けてほしい時には言葉に出して伝えていけるようにする

[学ぶこと]

- 一から学びなおす気持ちで学習していきたい
- 学習を深めて自己の力を高めていく
- ピアノをがんばりたい
- 豊かな人間になりたい
- 遊びの引き出しをもっと持ちたい
- 病児、病後児保育に関する研修があれば参加し学びたい

[仕事への姿勢]

- 気持ちに余裕をもって、自分のできる範囲で力を注ぎがんばっていく 無理をしない
- 相手の立場に立って考えていくこと、話をしていくことを心がけていく
- 今年達成できたことを土台にしていく
- 中堅の役割を明確にしながらスキルアップできるように努力したい
- どんな保育をしたいのか、働き方はどうなのかを考えていく
- 保育経験をもとに、学ぶことを大事に、責任感をもって子どもへの温かいまなざしをもって保育していきたい
- 子どもの思いを大切にできる保育をしたい
- 気持ちよく働ける環境美化に努める
- 職員の良い雰囲気づくりを大切にしていきたい
- 自分が楽しみ、あそび込んでいきたい
- 親支援のために、発達を深く学んだり、話の聴き方や応え方を学んでいきたい
- 反省したことが次に繋がられ、実践になるようにしたい
- 目の前の子どもにどんな力をつけていきたいか、しっかり考えながら保育したい
- 先輩方の動きをよく見て学んでいきたい

[家庭と仕事の両立]

- 自分の生き方と向きあう

- 家族を大切にし、仕事も納得してできる自分をつくっていききたい
- メリハリをもってすごしていきたい

[健康に働く]

- 健康に注意して体調を崩さず仕事に全力を注げるようにしたい

◎日ごろ感じていること

- 自分の足りないところや力不足なところを皆に支えてもらいながら一緒に学びあい、高まりあってこれたように感じている
- 良い職員集団の中で仕事できることがありがたい
- 体力、気力を保ちつつ、仕事で新たな挑戦ができることをありがたく思い、がんばっていく
- 悩んでいるときなどに“どうしたの？”と声をかけてもらい、相談にのってもらい、話を聞いてもらえることに感謝している
- アドバイスをもらえたり、気軽に相談できる
- さくらんぼで毎日保育ができてうれしい
- 自分の未熟さを痛感しながらも前向きに勤務できるのは、職員同士が理解し合い協力し合っているからだと思う
- いろいろな任務を抱えながら、話し合いや準備、研修など頑張っている
- 正規職員ががんばってくれているからこそその臨時だと思う。支えてもらい感謝している

<今後の課題になること>

- 一人一人の個性が輝く保育ができるといいなと思っている
- お互いを信頼しあい、何でも話せて、言い合い、高まりあえるような職場にしたい
- 保育観の一致をしていきたい（みんなで学習したり、気軽に声を掛け合ったり）
- 園全体で“保育を語りたい”“子どものこと語りたい”そんな雰囲気をもっと広がったらいい
- 映画『みんなの学校』を全職員で観て討論していけたらいいなと思った
- いろいろな人に支えられて仕事ができていることに感謝しながら、自分も支える一人になれるよう頑張りたい
- 事務をためて終わらないのが不安
- 働く上での矛盾が見えてきたり、園の“素敵だな”と思う部分が失われてきていると感じたり、働きづらさを感じたりしてきている
- 皆がいろいろ気にすることなく、思いを出すことができ、大変さはあっても気持ちよく仕事ができるようになるといい
- 仕事も、私生活もやらなければならないことがあるのに、頭や身体が働かず、“何やってるんだろうな”と思ったりするが、一つ一つ片付けていかなければと思っている
- 描画、リズム、ごっこなどさくらんぼで大切にしていることをしっかりと学べる機会（研修等）が欲しい。今は見よう見まねでやっている
- 言葉や行動はその人自身を映し出していると感じるし、その人の組織全体を映すものとなるので気を付けたい 自分自身を豊かにしたいと願う
- 保護者は保育士の言動をよく見て聞いてさくらんぼの保育を感じ取っているのだろうと思う